

松任石川・つるぎ病院だより

平成23年
新春
特別号



松任石川中央病院 中庭



つるぎ病院 屋上

白山石川医療企業団

公立松任石川中央病院

公立つるぎ病院

白山石川医療企業団 基本理念

私たちは、みなさまの健康な生活を支えるために

- ・期待にこたえられる良質な医療に努めます
- ・安心・安全で信頼される医療に努めます
- ・切れ目のない包括的な医療に努めます



公立松任石川中央病院

TEL : (076) 275-2222 / FAX : (076) 274-5974

受付診療時間

午前 8時～11時30分

午後 12時30分～

※休診日 土・日・祝／年末年始

※緊急の患者に関しては救急外来にて診察いたしております

※午後は、診療科によって異なりますので、
詳しくは当院ホームページをご覧ください

URL : <http://www.mattohp.jp/>

診療科目

一般内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、
腎・高血圧内科、神経内科、神経科精神科、小児科、
外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、
甲状腺診療科、麻酔科、放射線科（放射線治療）、
リハビリテーション科、歯科



●住所 石川県白山市倉光三丁目8番地

●アクセス JR松任駅からバスが運行されています



公立つるぎ病院

TEL : (076) 272-1250 / FAX : (076) 272-3144

受付診療時間

午前 8時～11時45分

午後 12時45分～16時30分

※休診日 毎月第2、4土曜日、日、祝日／年末年始

※毎月第2、4土曜日以外の土曜日は、午前のみ診療

※緊急の患者に関しては救急外来にて診察いたしております

※受付診療時間は、診療科によって異なりますので、
詳しくは当院ホームページをご覧ください

URL : <http://www.tsurugihp.jp/>

診療科目

内科、循環器科、呼吸器科、小児科、外科、整形外科、
婦人科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、
健診科

診療所

吉野谷診療所、中宮診療所、白峰診療所



●住所 石川県白山市鶴来水戸町ノ1番地

●アクセス ・加賀産業道路「安養寺北」交差点より国道157
号を白峰方向へ10分
・北陸鉄道石川線 「鶴来駅」徒歩

みなさまの思いがカタチになりました

公立松任石川中央病院 ～第四次増改築工事竣工式、健康セミナー・フェアを開催～



健康フェアでの血糖値測定ブース。行列が出来るほどの人気でした



企業団開設者である作野昭昭白山市長、栗貴章野々市市長、西田耕豊川北町長らが参加したテープカット



竣工式では、100名を超える関係者の方々にご来場いただきました



病院の取り組みの紹介や、さまざまな病気を解説するパネル展示。病院スタッフにご質問される方も少なくありませんでした



セミナー第一部「認知症の早期発見と予防・治療―PETの役割―」は金沢大学脳老化・神経病態学の山田正仁教授が担当。受講者はわかりやすい説明に聞き入っていました



セミナー第一部「認知症の早期発見と予防・治療―PETの役割―」は金沢大学脳老化・神経病態学の山田正仁教授が担当。受講者はわかりやすい説明に聞き入っていました

一方、総合健診センター2階では、フットケアやストレスチェック、骨密度測定などのブースを集めた「健康フェア」を開催しました。

また、増改築した院内を見学できる内覧会も併せて実施。PET/CTやLINAC（放射線治療機器）など、新たに配置した最新医療機器には、見学された方も興味津々の様子でした。

夕方には、東京医科歯科大学大学院教授の川淵孝一先生による記念講演「2010年度改訂の背景にある病診連携」を開催。今後の方向性を探ってみました。

当院では今後も引き続き、地域のみなさまにとってわかりやすい医療情報を提供していきます。

平成22年12月18日、公立松任石川中央病院第四次増改築工事の竣工式を開催いたしました。多数の関係者並びに地域住民の方々にご出席いただき、誠にありがとうございました。

当日は、地域医療連携棟2階会議室において、地域のみなさま向けの「健康セミナー」を行いました。

午前の第一部は「認知症の早期発見と予防・治療―PETの役割―」、午後の第二部では「女性とがん―解決！乳がんのギモン―」がテーマ。講師のわかりやすい解説に、立ち見の参加者が出るほど盛況でした。

トップメッセージ

～新年を迎えるにあたり～



白山石川医療企業団
企業長 長野 賢一

新年、明けましておめでとうございます。

みなさま方と輝かしい新春を共に迎えてきましたことを、心からお喜び申し上げます。

平成20年4月に白山石川医療企業団が発足して以来、はや3年が経過しようとしております。この間、白山市・野々市町・川北町の構成市町の住民のみなさまが安全・安心してこの地域で生活できるよう医療面より支援してまいりました。公立松任石川中央病院においては第四次増改築事業にて、念願の放射線治療及び

認知症診断が可能となり、「がん」をはじめとする生活習慣病の予防、早期発見及び最新の診断、治療に心がけ、地域住民の皆様の健康維持を第一に医療サービスの提供に努めてまいりました。また、公立つるぎ病院においては、へき地医療拠点病院として吉野谷・中宮・白峰診療所との一体的な運用を強化し、地域に必要な急性期医療に加えて、高齢化社会の到来に對してのリハビリテーション機能の充実を図り、昨年5月より介護医療との連携による通所リハビリテーション（デイケア）もスタートいたしました。

これからも当企業団は、基本理念である「私たちは、みなさまの健康な生活を支えるために」をモットーに、構成市町はじめ近隣のみなさまの期待に応えられるよう良質で最善と評価いただける医療の提供に努めてまいります。また、この地域の医療関係者のみなさまには、企業団全ての施設の更なるご活用をいただくように努力いたします。

今後とも、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



公立松任石川中央病院
病院長 八木 雅夫

新年、明けましておめでとうございます。

みなさま方には、すがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

このたびの増改築工事においては、近年増加傾向にある「がん」治療に對するのための放射線治療施設の新築及びPET



公立つるぎ病院
病院長 宮本 正治

新年、明けましておめでとうございます。

T施設の増築を含む高度医療棟建築工事、今後、需要が高まるがん化学療法の充実強化を図るための外来がん化学療法室の増設などを行ったものであります。また、それに併せて最先端の医療機器も配備いたしました。これにより、「がん」の診断から治療までの切れ目のない包括的ながん診療体制が整い、地域の方々のニーズに合わせた、幅広い医療サービスの提供が可能になりました。

職員一同、この竣工を大きな喜びとして、これからも「ぬくもりとおもいやり」のある医療を実践すべく、日々の研鑽による医療水準の向上に努めてまいります。今後とも地域医療発展に格別のご協力とご支援をいただきますよう心からお願い申し上げます。

公立つるぎ病院は、鶴来地区から白山ろく地域の人々の健康と生活を支えている病院です。また、へき地医療拠点病院として吉野谷・中宮・白峰診療所とともに白山ろくの無医地区医療もおこなっています。高齢化時代の地域ニーズに應じて、急性期の医療から、回復期、慢性期の医療を提供し、さらに在宅医療といわれる訪問診療、訪問リハビリ、通所リハビリにも力を入れています。

これからも、住民のみなさまが安心して生活していけるようにより一層努力してまいります。

最善の医療の実現のために

公立松任石川中央病院

第四次増改築工事のポイントを解説

このたび当院では、急性期医療を中心とした診療機能の強化と、健康維持・予防をはじめとした健診機能の充実のため、第四次増改築工事を実施しました。今回の工事では、がん治療充実のための施設整備、地域の医療機関との連携強化を見据えたスペースの増築をはじめ、総合健診センターの充実、そして血液浄化センターなどの拡充を行いました。そこで、当コーナーでは今回の増改築工事の概要をわかりやすく紹介いたします。

がんの発見と治療



放射線治療施設を新築し、新たに「LINAC」（放射線治療機器）を導入



PET センター内に認知症研究所を設立



がん治療のさらなる充実のため PET/CT を増設

地域との連携



地域医療連携棟の増築に合わせ、救急外来診察室を拡張



地域の医療機関や医師会などが気軽に利用できる会議室

充実の健診設備

病棟隣接の心臓リハビリ室を総合健診センターに移設拡張。機能を集約化した



総合健診センターを増築し、新たに保健指導室・運動指導室などを配置

くつろぎの空間



4カ所あった外来受付カウンターの集約。開放感のある外来待合室へ



血液浄化センターを拡張。透析患者の増加に対応

働きがいのある職場へ

職場環境充実のため、医師住宅を新築移転



今回の第四次増改築工事の目的は、主に4つのポイントに分けることができます。

第一は、がん治療体制のさらなる充実です。

当院では全国の公立病院に先駆けてPET/CTセンターを開設。がんの早期発見には高い評価を得ています。ただ、治療面において化学療法や外科的手術には対応しているものの、放射線治療を提供する体制がなく、他病院に頼らざるを得ませんでした。そこで、放射線治療棟を新築し、「LINAC」（放射線治療機器）を導入。今回、PET/CTも新たに増設しており、がんの診断から治療までの「完結型」の医療を目指し、がん拠点病院を目指しています。

第二は、地域の医療機関との連携強化です。

現在、医療連携ネットワークシステム「まっとう連携くん」を運用するなど、医療機関との連携に力を注いでいますが、その機能をさらに充実強化するため、地域医療連携棟を増築しました。同棟では救急外来診察室の拡張とともに、医療関係者との交流を目的に会議室も設けています。

第三は、健診機能の充実です。総合健診センターを増築し、保健指導・運動指導室を配置。併せて、病棟に隣接していた心臓リハビリ室を1階部分に移設して機能を集約することにより、より効率的にサービスを提供できる体制を整えました。

第四に、さまざまなニーズに対応する外来機能の拡張です。院内でゆったりお過ごしいただくため、4カ所あった外来受付カウンターを集約し、広い待合スペースを設けました。さらに、PET検査、放射線治療の提供により、外来化学療法の利用増が見込まれるため、外来化学療法室を拡張。透析患者の増加には、血液浄化センターを拡張することで対応しました。

加えて、職員の職場環境向上のため、医師住宅も新築移転。日々提供するサービスの質向上につなげたいと考えています。

第四次を迎えた今回の増改築工事により、急性期をはじめとした診療機能のさらなる充実とともに、予防、検査から治療、そしてリハビリまで、幅広いステージのみなさまへの支援体制が強化されました。

新たに生まれ変わった当院は、これまで以上に地域住民のみなさまの健康に貢献していきます。

認知症の早期発見とPETの役割

近年、高齢化の進行に伴い、認知症に苦しむ方が年々増加しています。そんななか、当院ではPET（陽電子断層撮影装置）と呼ばれる医療機器を用い、認知症の早期発見への取り組みを進めています。そこで、当院の副院長でPETセンター長でもある横山邦彦医師に、認知症とはどんな病気であるか、また認知症の早期発見におけるPETの役割について聞きました。

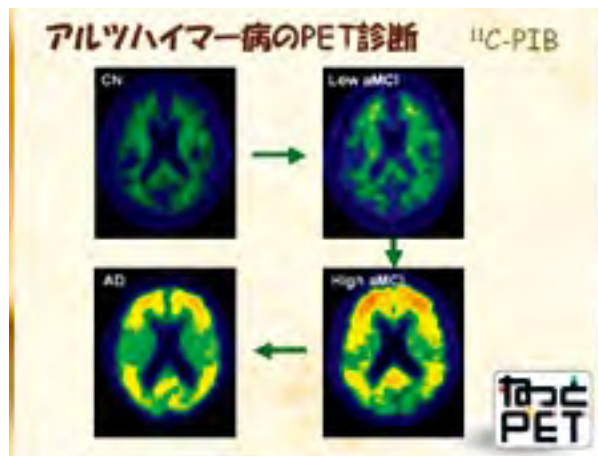


公立松任石川中央病院
副院長・PET センター長
横山 邦彦

Q 認知症とはどのような病気ですか？

横山 認知症は脳の機能が著しく低下する病気で、以前は痴呆症と呼ばれていました。

認知症には三大的な症状があるとい



PIB — PET で映し出した脳の画像。認知症の原因物質を画像に映し出す

われています。

一つ目は、記憶力の障害です。昔のことは覚えていても、最近のことを覚えてられない、あるいは思い出せないという障害です。

二つ目は、見当識の障害です。少し難しい言葉ですが、見当がつかなくなり、私は誰、ここはどこ、今日は何日か、思い出せない症状が出てきます。

三つ目は、判断力の低下です。物事を考え、企画して行動するという能力を持つ、前頭葉と呼ばれる機能に障害が起きると、やる気を失ったり、新しいことに取り組みなくなります。

このように、認知症とはたんなるもの忘れではなく、社会生活が営めなくなる程、著しく機能が低下している状態を指すのです。

Q 認知症は、突然かかる病気ですか？

横山 そうではありません。

認知症は、正常な状態から少しずつ機能が落ちていくなかで発症します。少しもの忘れがあるという時期を経て、最終的に、社会生活を営めない程度まで進行したとき、認知症が発症したといえます。

ただ、先ほど申し上げたMRIの画像診断では、かなり症状が進行して、脳が小さく縮んでしまった状態になってはじめて認知症とわかります。

そこで、当院では、より早期に認知症を発見できる手法のひとつに、PETを用いた診断をはじめました。これは、2つの異なる薬を投与後、PETによる画像で診断するという方法です。

一つ目がFDGを用いた診断です。これは糖の分布を診る検査薬を投与して診断する手法です。これを使うことによって、頭の機能が正常に保たれているかどうかを確認できます。

さらに、北陸の医療機関では当院が最初に行った、PIBという別の薬を用いた検査があります。これは、脳の中に溜まるアルツハイマー病の原因の物質である老人斑（アミロイド斑）を画像に映し出して、診断するという方法です。

PIBを用いる画像診断によって、



PET で、認知症を早期に発見できる可能性が出てきた

column

知っておきたい乳がんの基礎知識

早期発見で自分を守ろう



公立松任石川中央病院
外科医長 石井 要

自己触診とマンモで早期発見 女性検査技師で安心の検査体制

乳がん学会認定医の資格を持つ石井要医師は、乳がんを早期発見するポイントについて、「月1回の自己触診と、マンモグラフィや超音波による定期的な検査です」と断言します。

乳がんは、自分で発見できる数少ないがんです。自己触診を続けることで、正常な状態を把握することができ、そのため、「もし、乳房や脇の下に異常を感じたら、ためらわずに当院へ来てください」と訴えます。

当院にはマンモグラフィが完備されていますが、プライバシーに配慮するため、検査技師はすべて女性。また、乳腺を専門に担当している看護師も常勤しているため、検診を受けやすい環境を整えています。

肥満やアルコールには注意 4月には公開講座を開催予定

「まず、乳がんは決して他人事ではなく、身近な病気であることを意識するところからはじめましょう」と石井医師は、治癒確率の高い初期段階での発見が大切だと強調します。

年間5万人がかかるといわれている乳がん。しかし、早期発見することで治癒も可能ながんでもあります。そこで、乳がんに対する理解を深め、自分、奥さんの体を守りましょう。

また、石井医師は乳がんの予防策として、「閉経後の肥満や過度のアルコール摂取、運動不足には気をつけましょう」と、規則正しい生活とバランスの良い食生活を挙げます。今年4月には、乳がんに対する正しい知識を普及するため、公開講座の開催を予定していると語る石井医師。医師や看護師などのスタッフがチームを組み、一貫して患者さんをサポートする体制がある当院に、まずは相談することをお勧めします。

公立つるぎ病院の挑戦

急性期から慢性期医療、へき地医療、 更に回復期リハ、 通所リハ、訪問リハ…… リハビリ機能を充実して 多様化する地域住民のニーズに幅広く対応

信頼されるよりよい医療の提供をモットーに、地域住民の健全な生活を支えている公立つるぎ病院。全15診療科目を有し、あらゆる疾病に対応できる医療提供体制を整備しています。その一方で、昨年5月、リハビリテーション棟を増築し、通所リハビリテーションセンターを開設するなど、リハビリ機能の充実を図りました。そんな同院のあくなき挑戦の姿を紹介します。



↑見晴らしの良い病院屋上にもリハビリを行う環境があります

←吹き抜けが開放感のある空間を演出する病院エントランス



↑心臓リハビリテーション室では、マシンを使ったトレーニングをさせる



↑天窓から明るい光が差し込んでくるリハビリテーション室



↑日々の生活のなかに生きがいを見い出しているだけのようなサポートを心掛けています



天井から吊り下げられた→2本のロープにつかまって運動を行うスリングセラピー



↑畳の部屋もあり、ご自宅と変わらない雰囲気味わえます



↑明るい空間のなか、趣味やレクリエーションなども楽しめるデイルーム

施設概要
公立つるぎ病院
通所リハビリテーションセンター
営業日●月～金（土、日、年末年始はお休みします）
送迎エリア●白山市、野々市、川北、辰口、金沢市南部地域
定員●35名
対象●介護保険の要介護認定で、要支援、または要介護と認定されている方
問い合わせ●TEL.076-272-1250

へき地医療拠点病院として
さまざまな疾病に対応できる体制を完備

「当院は、地域住民の方々にとって、なくてはならない病院だという強い信念があります」。そう語るのは、公立つるぎ病院の宮本正治病院長です。昭和52年、国から「へき地中核病院」（平成15年からは「へき地医療拠点病院」）に指定された同院は、鶴来地区や白山ろく地域の方々が、わざわざ遠方の医療機関に通わなくて済むよう、急性期から回復期リハ、療養、通所リハ、デイケアなど、さまざまな医療・介護提供体制を構築してきました。

病気を発症し、急激に健康が失われた方を対象にした急性期医療では、認定専門医の資格を持つ医師が、資質の高い診療・治療を担当しています。また、急性期を脱した方が、在宅・社会復帰していただく懸け橋役を担う回復期リハビリテーション病棟、長期療養が必要な方向けの療養病棟など、幅広い疾病に対応した診療体制があります。

さらには、吉野谷及び白峰診療所に医師を派遣。無医地区への巡回診療も展開することで、地域住民のアクセス面での利便性にも配慮しています。

通所リハビリテーションセンターを開設
『やりたい』を『できる』に変える支援を

一方、地域住民の高齢化という地域の社会的背景を考慮し、近年、リハビリテーションにも注力しているのが同院の特長の一つです。

昨年3月、リハビリテーション棟を増築し、

5月より、通所リハビリテーションセンターを開設しました。その目的について、宮本病院長は、「『やりたい』を『できる』に変える空間をつくりたかったのです」と強調します。歳を重ねるごとに身体機能が低下し、自分の思い通りに動けず、生きがいを見失っている方も多いことでしょう。そこで同センターでは、より豊かに生活していただけるよう、『やりたい』という願望を『できる』という意欲に変化させ、利用される方々の可能性を引き出す支援に取り組んでいるのです。

ここでは、食事や入浴のお手伝いを行うほか、手芸や将棋などの趣味に興じる時間もあります。また、日常生活上、最低限必要な身体機能の回復を目的に、機械や器具を用いたトレーニングも行えます。

一日のスケジュールは、理学療法士や作業療法士などのリハビリ専門スタッフが、一人ひとりに応じたリハビリプログラムを作成。また、自分で選べる個別選択メニューも用意。利用される方々本人の意思を尊重しています。

サービスを提供する館内は、落ち着いた色彩で統一され、天井には伝統的な日本家屋の造りの象徴である梁が施されています。建物奥の一段高い部屋には畳が敷かれ、利用される方々がくつろげる心安らぐ空間が広がっています。

「今後も地域住民の方々が、安心して生活できる環境を整えていきたい」と語る宮本病院長には、現状に甘んじることなく、つねに改善していこうとする、挑戦者としての意欲があふれている。

連携ネットワーク



連携医療機関一覧

浅井小児科医院	つじ川内科クリニック
あさがおクリニック	津田内科医院
旭診療所	津山クリニック
有川整形外科医院	てらしま内科クリニック
池田病院	とみたクリニック
いのくち内科医院	長尾医院
今村耳鼻咽喉科医院	ながしまクリニック
井村内科医院	中島内科医院
ういえ耳鼻咽喉科クリニック	なかでクリニック
うしむら眼科クリニック	なごみ苑
大倉外科医院	なんぶこども医院
岡村内科医院	にしかわクリニック
御経塚クリニック	野々市こころのクリニック
織田内科クリニック	ののいち産婦人科クリニック
小野木医院	ののいち白山醫院
かわい小児科医院	はしもと内科クリニック
川北温泉クリニック	ばんどう内科診療所
川北こどもクリニック	深江レディースクリニック
かわきた整形外科醫院	福留クリニック
河内うらた医院	船木病院
喜多内科医院	ふるさわ内科クリニック
北村内科医院	べんクリニック
さかえ内科クリニック	ほりかわクリニック
斉藤小児科医院	松任整形外科クリニック
真田医院	松葉外科胃腸科クリニック
しおのやクリニック	南ヶ丘病院
嶋医院	みやうち眼科
下崎整形外科医院	三幸小児科医院
恵愛会 松南病院	むとう小児科医院
しらお眼科	森 明弘クリニック
新内科医院	矢ヶ崎外科医院
新村病院	安原医院
すえよし整形外科クリニック	やなぎ内科クリニック
せいだクリニック	やまかわ内科クリニック
聖来美クリニック	やまぎしレディースクリニック
だいもん内科・腎透析クリニック	山本クリニック
高田内科クリニック	やまもと内科医院
たけお皮膚科クリニック	吉光内科医院
谷内科歯科クリニック	吉村眼科医院
太郎田医院	米田内科医院
ちくだ医院	わかば内科クリニック
千代野苑	わかばやし眼科クリニック

(50音順)